

首題工場労働争議ニ関シ其ノ後勞資間ニ於ケル状態左
記ノ通

記

一、労働者側

職工代表萩原春十郎外三名ハ関東合同労働組合岩
内善作辰谷川貞三ト共ニ昨七日小坂工場ヲ訪問工
場主小坂興三吉ト會見別記要求書ヲ提出交渉スル
所アリシモ一部份ハ認容セラレタルモ大部分ヲ拒
絶セラレ既報ノ如ク日暮里町字金杉一五。ニ愛隣
団ニ於テ小坂護護工場争議批判演說會ヲ開催シ岩
内善作外十名ノ弁士ハ夫々要求事項貫徹ニ就テノ
激励的演說ヲ為シタルカ主ナル弁士ノ講演要旨別

記ノ如シ

二、事業主側

工場主小坂興三吉ハ昨七日職工側ヨリ要求書提出
セラル、ヤ折衝ノ結果第一第九第十ノ三項ヲ認容
シ第七項ニ對シテハ四日分支給又第六項ハ考慮ス
ルコト、シ其ノ他ハ全部之ヲ拒絶セリ

然ルニ工場主ニ於テハ強硬ナル意見ヲ持シツ、ア
リシモ本争議ノ徒ラニ延引スルガ如キコトアラン
カ労働者側ノ誇大ナル宣傳ノ為メ忌マハシキ世評
ヲ受クルコトヲ慮リワ、アル實情ニシテ労働者側
ノ交渉方法如何ニ依リテハ兩者對峙ノ局面ハ急轉
シテ妥協解決ヲ見ルニ至ルヤモ圖ラレズ

右及申(通)報候也